

News Letter

神奈川県聴覚障害者福祉センター

きこえ支援情報館

No.5

発行/2021年6月1日 神奈川県聴覚障害者福祉センター補聴相談室 文責 大本純子

第2回コミュニケーション講座

5月23日(日)講師の高橋先生は普段お勤めの診療室からご講演されました。白衣を着た先生を初めて拝見しました。これはオンラインの利点と言えますね。内容は、「きこえの基礎知識」ということで耳の構造をわかりやすい動画で紹介。最近注目されている難聴と認知症との関係について。難聴は高齢者の認知機能に関与している。難聴は放置してはいけないとのことでした。多くの難聴者は、どうして自分は難聴になったのか？これから自分のきこえはどう変わっていくのだろうか？という不安をもっている人は少なくないと思います。それに答えるための方法の一つとして難聴遺伝子検査があります。難聴遺伝子診断は神奈川でも行える病院は限られています。

カウンセリングが必要だからです。人工内耳についても動画で説明していただきました。人工内耳を実際につけた人のきこえ、手術を受けてみての感想など、医療現場ならではの情報がありました。



補聴相談室から

**コロナ禍でマスクが外せない
マスク、メガネ、補聴器の3点セット
マスクを外すと補聴器も外れる。どうしたらいいの?!**
そこで、耳にマスクをかけない工夫をしました。右のグッズを使います。マスクの紐を両側にひっかけ、首のあたり、あるいは髪を結んでいる人なら、髪にひっかけてもいい。少しは、耳の負担が減るのではないのでしょうか。最近ではマスクに関わるグッズもいろいろあるようです。便利なものがあったら教えてください。



第3回コミュニケーション講座のご案内

日時6月12日(土)10:00~12:00

テーマ:豊かなコミュニケーションのために

講師:神奈川県聴覚障害者福祉センター大本

<https://forms.gle/ng2QevKLMrodXH1p8>

にアクセスするか、上のQRコードでも申込できます。

電話(0466)27-1911/FAX(0466)27-1225

メール soudan@kanagawa-wad.jp 担当 大本



電話リレーサービス いよいよスタート

聴覚障害者にとっての「電話」。そこには大きな「バリア」がありました。そのバリアフリーに向けて、「電話リレーサービス」が公的インフラとして、令和3年7月1日スタートします。24時間365日提供されます。利用するには、登録が必要です。インターネット接続できるスマートフォンやタブレットとあらかじめ専用アプリのダウンロードが必要です。このサービス自体がまだまだ知られていない、金融、保険、通信、不動産などで本人確認の壁など課題はありますが、聴覚障害者の自立と社会参加のために大きな一歩となることでしょう。